



# 御殿場線 19 駅ウォーク(第4ステージ)

2016.01.31 16km ゆったり13km 超ゆったり10km

国府津駅→沼津駅 歩き継ぎ  
(5日間 約75Km)  
**第4ステージ**  
南御殿場駅～裾野駅

## コースの概要

御殿場合同庁舎付近でバスを降り、南御殿場駅前で体操をしてスタートです。踏切を渡り住宅街や田舎道を富士岡駅まで歩きます。ここでトイレ休憩ですが、数が少ないので原則として緊急の人と1号車の人がここでトイレを済ませ、残りの人は近くの富士岡公園でトイレ休憩です。この公園で全員集合した後、歩道橋を渡って細い道を進み、岡村製作所の横を通り、黄瀬川に架かる新しい橋、新礼聖橋を渡ります。神山復生病院横を通り、岩波駅前のバス発着所まで歩き、ここでバスに乗って五竜の滝がある中央公園に向かい昼食になります。昼食後はまたバスで岩波駅前まで戻り午後のウォークのスタートです。岩波駅から深良地区をしばらく歩き、深良グラウンドでトイレ休憩をとります。その後は住宅街、裾野市街地を進み、裾野駅に到着、トイレを済ませてください。駅前には狭いため広い通りに出て丸亀製麺所前あたりでバスに乗ります。ゆったりコースの人は深良グラウンド手前で右折して裾野市民文化センターまで歩いてウォーク終了です。また、午前中のウォークで十分という方は五竜の滝からバスで市民文化センターに行くという「超ゆったりコース」を選択してください。普通コースの皆さんが裾野駅に着いた頃に両コースの皆さんはバスでゴールに向かいます。

## 参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

## 緊急時連絡

増田敏幸 080-2612-4825  
松井隆子 090-9910-2192

## 次回申込 (車内で) 小田原・太閤一夜城 史跡の道ウォーク

☆期日 2月21日(日)  
☆集合 富士宮駅南口 7:30  
☆参加費 3500円

## コース

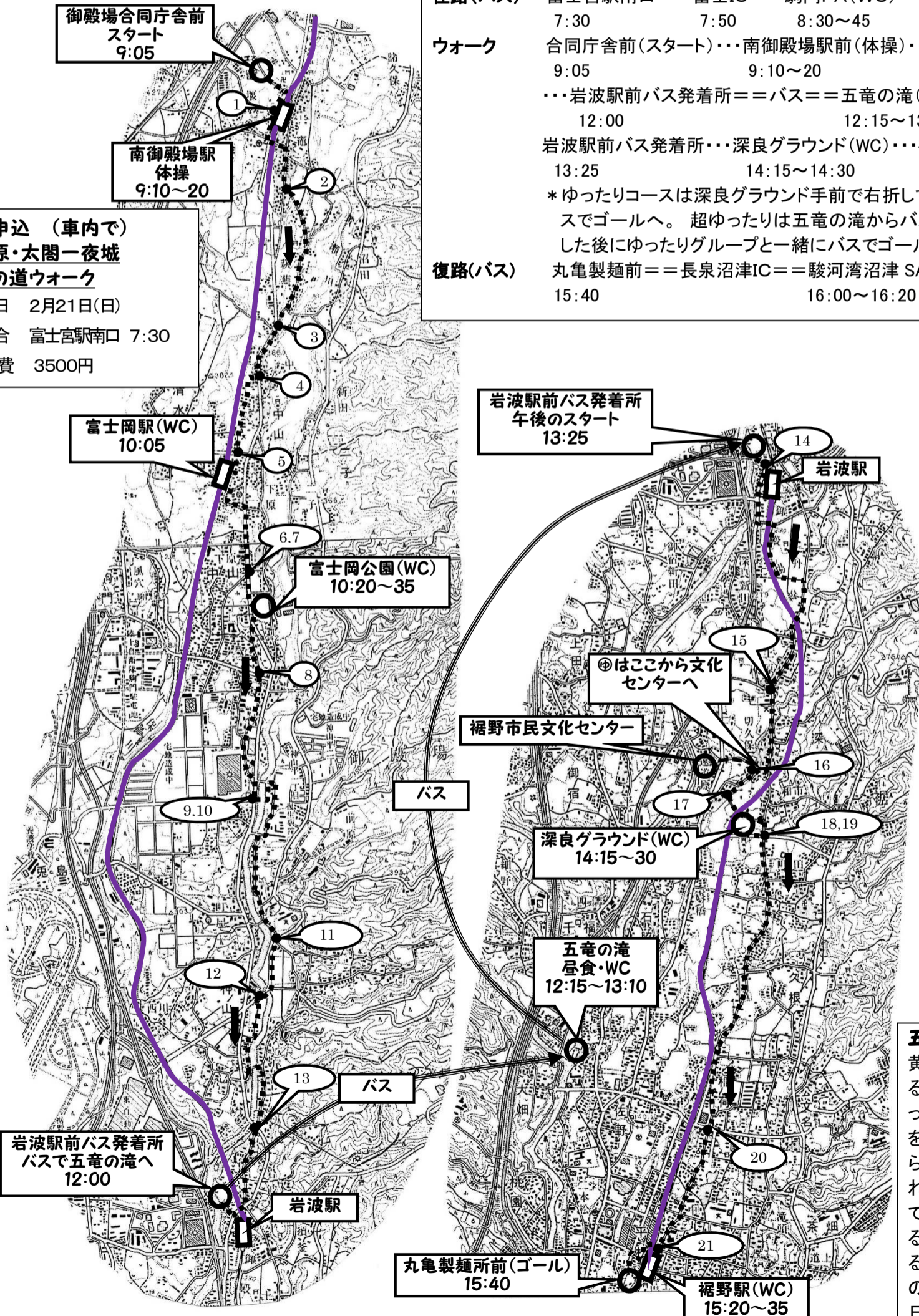
往路(バス) 富士宮駅南口 == 富士IC == 駒門PA(WC) == 御殿場 IC == 御殿場合同庁舎前  
7:30 7:50 8:30~45 9:05

ウォーク 合同庁舎前(スタート)・・・南御殿場駅前(体操)・・・富士岡駅(WC)・・・富士岡公園(WC)  
9:05 9:10~20 10:05 10:20~35  
・・・岩波駅前バス発着所 == バス == 五竜の滝(昼食・WC) == バス ==  
12:00 12:15~13:10

岩波駅前バス発着所・・・深良グラウンド(WC)・・・裾野駅(WC)・・・丸亀製麺前(ゴール)  
13:25 14:15~14:30 15:20~35 15:40

\* ゆったりコースは深良グラウンド手前で右折して裾野市民文化センターまで行き、ここからバスでゴールへ。超ゆったりは五竜の滝からバスで文化センターまで行き、ここで時間を過ごした後にゆったりグループと一緒にバスでゴールへ。

復路(バス) 丸亀製麺前 == 長泉沼津IC == 駿河湾沼津 SA(WC) == 新富士 IC == 富士宮駅  
15:40 16:00~16:20 16:50



## 富士宮歩こう会の歌「四季それぞれ」

- 1 桜舞い散る 川沿いの道を  
友と語りながら 歩いてゆこう  
細いあぜ道 石ころ道も  
仲間と一緒になら 頑張れる  
歩こう 歩こう 今日も元気に  
富士宮歩こう会
- 2 紫陽花の雨 そぼ降る道を  
口笛吹きながら 歩いてゆこう  
降り続く雨 ぬかるむ道も  
仲間と一緒になら 頑張れる  
歩こう 歩こう 今日も楽しく  
富士宮歩こう会
- 3 もみじ色づく 里山道を  
歌を歌いながら 歩いてゆこう  
長い坂道 遠いゴールも  
仲間と一緒になら 頑張れる  
歩こう 歩こう 今日も明るく  
富士宮歩こう会
- 4 雪風が吹く 海辺の道を  
両手に息吹きかけ 歩いてゆこう  
頬を刺す風 凍てつく道も  
仲間と一緒になら 頑張れる  
歩こう 歩こう 明日に向かって  
富士宮歩こう会

## 五竜の滝

黄瀬川にかかる滝で、裾野市中央公園内にある。高さ13m。全部で五条の滝から成り、向かって左側の三条の滝を雄滝、右側の二条の滝を雌滝という。また五条の滝にはそれぞれ左から、雪解・富士見・月見・銚子・狭衣と名付けられている。約一万年前の富士山の噴火によって形成された富士溶岩層の断崖を落下している。玄武岩溶岩流の断面を観察することができることにおいても貴重。新田次郎の小説「蒼氷」の中にもこの滝が登場する。1997年3月17日に静岡県指定天然記念物に指定されている